

千葉県社保協通信

2021年度 No.4 2021年 8月 26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL: 043-225-6790 FAX: 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

パラリンピック 学校連携観戦すぐ中止して !! いのち守れ 県社保協・憲法共同センター 共同宣伝



新型コロナウイルス感染爆発が起こる中でパラリンピックが開催された24日(火)12時~13時 JR 千葉駅そごう側通路にて、定例宣伝を行いました。

県内では千葉市をはじめ6市2町の公私立学校がパラリンピック学校連携観戦を予定しており、「感染が心配」「やめてほしい」の声が広がっています。

オリ・パラ強行は感染拡大に拍車をかけ、県内でも



自宅療養中の妊婦さんが早産し、赤ちゃんが命を落とすなど、痛ましい事例が起きています。

自治労連県本部の黒濱さんは「病院や保健所など現場はひっ迫している。感染リスクが高い子どもたちのパラ観戦を中止させよう」と訴えました。

そして、「秋には総選挙が必ずあります。私たち国民の求める政策を実現する政府をつくりましょう。菅政権が決断できないのであれば、選挙で変えましょう」「誤ったメッセージを発信する菅首相に手紙を書きましょう」と呼びかけ、「菅首相への手紙~コロナ禍 私が経験したこと」を書き込めるチラシを配布しました。

土建、労連、自治労連、新婦人、私教連、県社保協、共産党の7団体11人が参加しました。

コロナ禍 いのち守って 流山社保協 住民の切実な声届ける ~社保キャラバン~

19日(木)流山社保協は、新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、項目を絞り込んで、社保協からは8団体19人が出席、職員3人と1時間懇談しました。

東葛病院職員は、新型コロナ対策として、市内の病院と連携し、自宅療養者の訪問診療によるケアを行い、重症化していないかなどの見回りや孤独死を防ぐとりくみを提案。あわせて、職員家族へのワクチン優先接種と医師、看護師、検査技師、社会福祉士の増員を求めました。

また、生健会からは生活困窮者や障害者にエアコン設置費用と電気代の助成を求めました。年金者組合の参加者は「75歳以上の医療費2倍化中止」と年金削減の反対を国に要請してほしいと訴えました。



コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る 8.21 なんでも電話相談会

千葉労連会場
26件

8月21日(土)全国一斉に行われた電話相談会では、昼のNHKニュースで報道されると千葉労連会場(12時~21時)の2台の電話が一斉に鳴り、終了までに26件の相談が寄せられ、7人の相談員が対応しました。

~特徴的な相談として、●母親と2人暮らし貯蓄が尽きそう。生活保護を検討(50代男性) ●雀荘を経営。コロナで客がなく家賃払えない(70代男性) ●売り上げが下がり工場閉鎖。ハローワークでも仕事見つからない(50代男性) ●体調が悪く仕事をやめた。仕事見つからず生活できない。身体障害者手帳を持っている。(30代男性) など。国に言いたいこととして

▼「定額給付金を出してほしい」▼「正確な情報を国民に提供して」▼「医療体制を整えて」等の声が寄せられました。

